



2017年12月1日
 会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 木本 茂
 コード番号 8233
 連絡先 広報・IR室長 園田 早苗
 (大阪) 06-6631-1101
 (東京) 03-3211-4111

2017年11月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大阪店	+8.8	+8.4	立川店	△25.0
堺店	+4.9		大宮店	+1.5
京都店	+5.6		柏店	+7.2
泉北店	△8.8		(株)高島屋単体 13店舗	+3.9
日本橋店	△1.6		岡山高島屋	+1.4
横浜店	+5.2	+4.8	岐阜高島屋	+3.9
港南台店	△1.5		米子高島屋	△5.2
新宿店	+8.2		高崎高島屋	+8.6
玉川店	+3.1		(株)高島屋単体 および 国内百貨店子会社 17店舗	+3.8

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

※横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

■ 概況

○11月度の店頭売上は、免税売上の伸長と株高による資産効果の影響などにより、高額品をはじめ売上が好調に推移しました。また、気温低下もあり、コートをはじめとした重衣料に動きがみられたほか、タカシマヤカシミアコレクションが前年比2桁増と奏効し、4ヵ月連続で前年実績を上回りました。

なお、免税売上は前年比+48.2%となりました。

○店舗別売上は、大型店ではインバウンド需要が好調な大阪店・京都店やベイスターズセールが開催された横浜店に加え、新宿店が前年を上回りました。

地方郊外店では、改装効果により高崎店が好調に推移し、堺店・玉川店・大宮店・柏店・岡山店・岐阜店も前年比プラスとなりました。

なお、泉北店・立川店・米子店は、前年同月比で売場面積が縮小しております。

○商品別売上は、リビング（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）などが前年を下回りましたが、紳士服・紳士雑貨・婦人服・婦人雑貨・特選衣料雑貨・宝飾品・子供服ホビー・食料品などが前年比プラスとなりました。

以 上